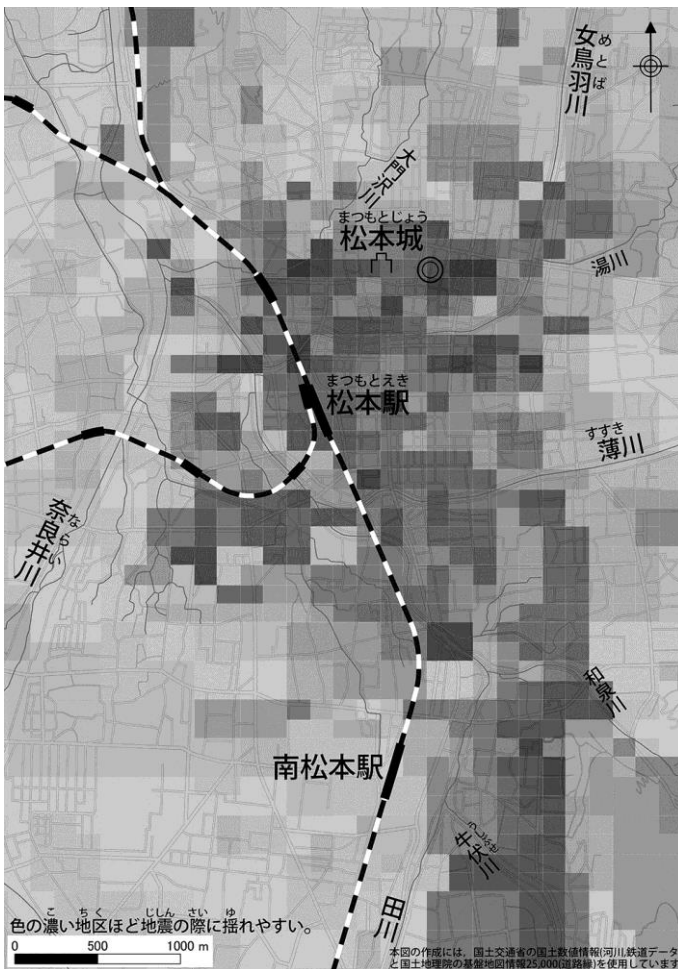


E-15 「揺れやすさマップ」を見よう

3年前に松本市で大きな地震が起こったことを覚えているでしょうか？この地震(2011年6月30日の地震)で多くの家で瓦が落ちたり、ブロック塀が倒れるなどの被害がありました。気象庁の発表では震度5強の地震でしたが、実際にはもっと強く揺れた地域があったのです。私たちは、市民のみなさんへのアンケート調査を通じて、どのあたりが強く揺れたのかを知ることができました。その結果、震源から離れた松本駅のそばなどに、周辺より強く揺れた地域があったことがわかりました。



それではなぜ、周辺より強く揺れるところがあるのでしょうか。その一番の原因は、どうやら地盤(地面の下の土の種類と性質)にあるようです。私たちは松本市の地盤の様子を詳しく調べ、地震が来たとき、どの地域がより揺れやすいのか、を示す地図を作りました。これが「揺れやすさマップ」です。「揺れやすさマップ」を見ながら、おおきな地震にどのように備えたらよいか、考えてみましょう。